

1 日時・場所 令和6年(2024年)12月6日(金) 5校時 5の1教室

2 単元名 読む人を意識して構成を考え、物語を書こう
(教材名) 「もう一つの物語」光村図書 5年

3 単元・教材について

【単元目標】

- ◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知(1)カ)
- ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(B(1)イ)
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)カ 話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	B(1)イ 「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 B(1)オ 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。

【教材の特性】

読む人を意識して文章構成を考え、物語を創作する学習である。創作活動は、想像を広げられる楽しさがある一方、設定を一から考えることに難しさを感じる児童も多い。そこで、既存の物語の「もしも」を考え、書き換えるようにすることで、創作活動の難しさを和らげ、構成や表現、展開を自分なりに工夫する楽しさを味わえるようにする。同じ西棟で生活する2年生とは、休み時間にお互いの教室を行き来するなどの自然な交流が見られる。そこで、「2年生の○○さんに」と読む人を定めることで、書く必然性が生まれ、より読む人を意識した創作活動になるのではないかと考えた。児童が、苦手意識を感じている「書くこと」に、楽しみながら取り組み、達成感や自己効力感が味わえるような学習にしていきたい。

【単元計画】(全9時間)

	主な学習活動 代表的な子どもの姿(・)	評価規準
第一次	① 今まで読んだことのある物語を振り返り、「もう一つの物語作家になって、2年生に読もう!」という課題を設定し、学習の見通しをもつ。 ・4年生の下中座の時、「桃太郎」をまねした「下中玉ねぎ太郎」を作ったね。 ・「桃太郎」がおもしろい物語になった。 ・早く書いてみたいな。	物語を書き換える活動の見通しをもち、学習計画を立てようとしている。 【態】(観察・発言・記述)

	<ul style="list-style-type: none"> ・どうやって書いたらいいのかな。 ・どんな物語を書き換えようかな。 ・2年生が知っている物語を聞いてみないと。 <p>② 2年生にインタビューし、書き換えたい物語を選ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「桃太郎」「浦島太郎」「一寸法師」「おむすびころりん」 「かぐやひめ」「うさぎとかめ」「シンデレラ」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「浦島太郎」って知ってる？ ・どのお話が好き？好きな順教えて。 ・どんな話が好き？おもしろい話？やさしい話？戦いもの？ 動物が出てくる話？ ・ぼくも好きな「桃太郎」にしよう！ 	
<p>第二次</p> <p>本時 ④</p>	<p>③ 読む人を意識して、書き換える物語の設定や構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を変えたらおもしろくなるかなあ？「桃太郎」で、流れてきたのが桃だけじゃなかったら・・・？ ・「一寸法師」で、鬼を倒すとき、針の刀じゃなくてウルトラビームにして倒すことにしよう。 <p>④ 交流を通して、書き換える物語の設定や構成を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、「一寸法師」で、特別な力をもってる設定で、お姫様を助けるときに、ウルトラビームを出して、鬼を倒す。どうかな？ ・最強じゃん。2年生、戦いもの好きって言ってたし。いいと思うよ。鬼は1匹？ ・1匹のつもりだったけど、たくさんいた方がいいかも。 ・私は、「浦島太郎」で、カメが恩返しをすることにしようと思う。 ・恩返しは何？ ・甲羅。 <p>⑤ 考えた設定や構成に沿って、表現を工夫しながら物語の下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話を入れてみよう。 ・～のように、を使ってみよう。 ・音を入れるのもいいね。 ・「はじめ」が書けた。読んでみて！ ・どんどん書ける～。 <p>⑥ 5年生同士で下書きを読み合い、内容のおもしろさ、表現の工夫などについてアドバイスする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音が書いてあって、様子がよく想像できたよ。 ・ほめ合うところは、「笑い合いました」とか入ると幸せ～ってなるんじゃない？ ・おもしろすぎる！2年生に通じるかな？ <p>⑦ 下書きを読み返したり、友達のアドバイスをいかしたりしながら、物語を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろいのができた。 ・2年生喜んでくれるかな。 	<p>物語の構成要素全体を見通しながら、書き換える部分を考えている。</p> <p>【思】（観察・記述）</p> <p>話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。【知】（発言・記述）</p> <p>「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。【思】（観察・記述）</p> <p>粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。【態】（観察・記述）</p> <p>作品を読み返し、間違いを正したり、読む人を意識した表現の工夫がされているか検討したりして文章を整えている。【思】（観察・記述）</p>

第三次	⑧ 2年生に物語を読み、学習全体のまとめをする。 ・喜んでもらえるか、緊張するなあ。 ・ゆっくり読もう。 ・〇〇さんの物語は、意外な出来事で面白かったな。 ・他の人にも読んでもらいたいな。
-----	--

4 児童の実態と《目指す児童の姿》に迫るための手立て

【児童の実態】

○読み聞かせは、集中して聴き、物語を楽しんでいる。 ○想像力、発想力が豊かな児童がいて、周りのよい影響を与えている。 ○友達と関わり合いながら学ぶことを好む。	●書くことに苦手意識をもつ児童が多い。 ●語彙力を含め、書く力（表現力）に大きな差がある。 ●反応はよいが、相手の受け止め方を意識せずに率直に伝えるところがある。 ●自分の考えを全体の前で発表する児童が限られている。
---	---



《目指す児童の姿》（高学年ブロック）

自分の考えを表現して学びを深めようとする児童



【目指す児童の姿に迫るための手立て（単元を通して）】

- ① 児童が「書きたい」と思う単元構想（主体的に取り組む・必然性）
 - ・「もう一つの物語作家になって、2年生に読もう！」という言語活動を設定する。既存の物語のパロディーを紹介し、「やってみたい!」「書きたい!」という思いを児童がもてるようにする。学習のゴール、読む人が定まることで、学習意欲がさらに高まると考える。
- ② 児童と考える学習計画と進捗の見える化（見通しをもつ・主体的に取り組む・自己調整力）
 - ・物語創作にはどのような学習活動が必要か、児童とともに計画を立てる。単元のゴールとそれまでの過程を明確にする。
- ③ ワークシートの活用（考えの明確化・相違の自覚化・教師の関わり）
 - ・児童とともに立てた計画に沿ったワークシートを作成する。ある程度、型が決まっていることで、どの子も安心して「書くこと」に取り組むことができるとともに、他者との関わり（アドバイスや推敲など）もしやすくなると思う。また、児童が考えている物語の設定や構成とともに進捗や困り感などの実態を見取っていききたい。

④ 視点をもった自己・ペア・グループ対話（考えの明確化・学びの深まり）

- ・物語の設定、構成を考え練る場面や、文章の推敲場面で対話を取り入れる。対話の内容と目的を指導者が明確にしておく。対話の視点を提示することで、学びの深まりにつながると思う。



研究テーマ

学び合い、高め合う子どもの育成
 ～自ら考え判断し学んでいこうとする児童の姿をめざして～

5 本時について（4 / 8 時間）

【本時目標】

交流を通して、書き換える物語の設定や構成を練ることができる。

【本時展開】

<p>学習のめあてと活動 教師の関わり（○）子どもの姿（・）</p>	<p>支援・留意点（・） 評価（○）【評価項目】／方法</p>
<p>① 前時を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。 ○今日の学習のめあてを確認しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>読む人が楽しめる物語にするために、互いの「物語アイデア」について意見交流し、あらすじを完成させよう。</p> </div> <p>○2年生が楽しめるようなお話にするために気を付けることは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんと内容がつながっているか。 ・もともとの話の筋は残す方が楽しめる。 ・どんな話が好きか聞いたから、そんな話にする。 <p>② 互いの「物語アイデア」について意見交流し、あらすじを完成させる。 ○友達「物語アイデア」について、良いところを見つけて伝えたり、読む人のことを考えてアドバイスしたりしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物が好きって言ってたから、桃太郎のおともが増えていておもしろいね。 ・事件の解決方法が、ありえない方法でおもしろい。 ・ハッピーエンドにつなげたいから、仲良くなる方がいいんじゃない？ ・事件の解決方法を迷ってるなら、一緒に考えよう！ ・もう1回読んでみて。 <p>③ 完成したあらすじを紹介する。 ○みんなにあらすじを紹介しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○くんのが聞きたい！ ・ぼくは、「浦島太郎」を書き換えるんだけど、・・・。 <p>④ 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く書きたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の見通しをもつ。 ・読む人を意識して書くことを確認する。 <p>話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。【知】（発言・記述）</p> <p>「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。【思】（観察・記述）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は、今日の「物語アイデア」を参考にしながら下書きすることを伝える。